

佐藤 智一

(希望)

空き家の現況と所有者の意向は

問 空き家問題が進行する中、物件所有者の意向はどのようになっているか。

答 平成26年度から空き家の実態調査を行っており、管理不全な状態で周辺へ危険を及ぼすおそれがある空き家については、所有者等の意向を確認し適正な管理を行うよう助言、指導等を行っているが、活用可能な空き家所有者等の意向は把握していない。

民泊推進による波及効果の検証を

問 民泊を推進することにより空き家問題への有効な対策にもなり得る。経済波及効果を検証すべきでは。

答 旅館業法の許可が必要とされる民泊は、空き家の所有者等がみずからの意向により行うものと考えられており、市では空き家の民泊活用については現在のところ考えていない。空き家の活用については、移住・定住促進による地域の活性化を図るため、空き家バンク事業により活用が図られるよう取り組むこととしている。

その他の質問事項

- 宿不足で機会損失となったことは
- Airbnb普及をどう捉えるか
- ペーパーレス会議の早期導入を

菊地 時子

(日本共産党)

介護保険の負担軽減策

問 介護保険料や利用料の負担が重くなり、年金からの天引き不能やサービス利用できない方も出ているのでは。国に負担を求めるとともに一般会計からの繰り入れも考えるべき。

答 国に対し、市長会を通じ国庫負担割合の引き上げについてこれまでも要望している。一般会計からの繰り入れについては、保険料負担の割合が定められた全国一律の制度であるので、法定外で繰り入れることは考えていない。

子育て支援策

問 子育てしやすい町とは子育て世帯への経済的な支援と、仕事と子育てへの両立支援が大切。学童保育利用の負担軽減と小・中学校に入学する子供の世帯に入学準備金を。

答 市では就学援助の中で、新入学用品費を支給している。入学準備給付金については、子育て支援施策の中で、今後、調査・研究していきたい。

その他の質問事項

- 高齢者の熱中症対策
- 災害時の障がい者支援策
- 福祉灯油の実施

原田 悦子

(イコールの会)

観光拠点施設

問 ハコモノは少子高齢化時代に大きな負担になる。事業費、運営費、維持管理費等に懸念がある。観光拠点施設は白紙撤回すること。

答 通年観光による交流人口の増加を図るため、日本一の高さを誇る城郭型灯籠を核に据え、能代の物産を一堂に集めて紹介、販売する機能を備えた観光拠点施設が必要と考えている。検討委員会や市民の皆様からいただいた意見等を踏まえ、基本計画素案を作成したうえで再度、議会等と協議していきたい。

能代産業廃棄物処理センター

問 ボーリング調査で存在が確認された液状物入りドラム缶を掘削撤去するよう県に強く要望していただきたい。

答 7月23日に開催された環境対策協議会で県から環境保全対策工事等について説明があった。しかし従来から要望しているナンバー2処分場のドラム缶の撤去は盛り込まれておらず、住民団体は改めて撤去を強く求めている。市も液状物入りドラム缶の撤去を要望したところであり、今後も、引き続き要望していく。

その他の質問事項

- 二ツ井地域自治区の必要性
- 雪対策